

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都多摩市鶴牧1丁目26-3
園名	キッズサポート多摩第二めぐみクラブ

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

花

<テーマの設定理由>

散歩先などで花を見つけると吸い寄せられるようにそばに行き匂いをかんだり花の名前を尋ねたりしていた。枯れてしまってもう咲かない花に「お水をあげればいいんじゃない？」という姿に実際に花を育てて見なければわからないのではと思い、園庭が無い園だが何とか工夫して花を育てる経験や花に親しむことができないかと「花」をテーマに設定した。

### 2. 活動スケジュール

散歩先で咲いている花の観察  
摘んだ花で押し花作り  
グリーンライブセンター見学  
摘んだ花や、季節の花を花瓶に生ける  
花壇、プランター作り、水やり、観察  
5月ひまわり、鳳仙花の種まき  
6月朝顔の種まき、苺の実がなったのを食べてみる  
7月ひまわり製作、高さ比べ  
8月コスモスの種まき、ひまわりの種採取  
9月朝顔、鳳仙花の花で色遊び、コスモスの観察  
10月グリーンライブセンターでチューリップの球根を頂く  
11月押し花アート作り（勤労感謝の日のプレゼント）  
チューリップの球根植え、ヒヤシンス水栽培開始、観察  
12月朝顔の種採取、鳳仙花の種弾き、残りのチューリップ球根植え  
近隣の花屋へ花を買いに行き花を飾る  
1月お楽しみ会で親子フラワーアレンジメントを行い、飾ってパーティーをする  
2月チューリップの花観察  
3月チューリップの花を子ども達へプレゼント 春の花壇作り

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

育てる花の絵本、図鑑を子どもが見れるようにする。花の成長を写真で張り出す  
花壇、プランター作り：プランター、土、肥料、苗、種、球根、水やり用ペットボトルに付けるジョウロ、ジョウロ、シャベル、スコップ、軍手、はさみ、支柱、紐、柵、網、ほうき  
色水遊び用容器  
花瓶を作る、散歩でとった花や季節の花を部屋に飾る  
水栽培用花瓶、球根  
押し花用シート、押し花アート用フレーム、ラッピング  
お楽しみ会フラワーアレンジメント用生花、材料とパーティーをする用の飾り等

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

#### 【4月】

##### ・散歩やグリーンライブセンターへ行き春の花を観察したり触れた

花を見つけると「これ何の花？」と尋ねたり、花の香りをかんでいた。わからない花の名前は Google カメラを活用しその場で伝えると花の名前を覚える児もいた。

普段は花をつむことを禁止としているが(生きている花をむやみにつんではいけない、命がある為)すくわく活動の為に大切に花を積んだものを花瓶にいけたり、押し花にすることにした。花を見つけ「これ押し花にしたい。」と花を大切に持ち帰る姿があった。

##### ・花壇、プランター作り

園の下に少しだが花壇を作るスペースがあり、そこを掘り起こし肥料と土を入れ花壇を作った。保育者が土を掘り起こしていると園児や保護者達が気にかけて「何してるの?」「花壇にするんですか?」と声をかけてきた。花壇に花を植えていることを知らせる張り紙を子ども達と製作しながら期待感を高めた。

#### 【5月】

##### ・花壇、プランターに苗を植えた

苗を植えそっと土をかけた後「大きくなあれ。」と話しかけたり、水やりをしながら日々嬉しそうに苗を観察し「びよーんって伸びてる～」と驚いていた。始めは水を同じ場所や花に直接かける児が多かった。大きくなってほしいという思いをじっくり

込めている為の行動なのだと感じた。花にかけずに土にかけること、色々な花に満遍なく水をあげることを知らせ保育者も一緒に水やりをし、子ども達と観察をした。自然と花壇の周りに集まり花を見て笑い合う姿が増えた。クラスの児以外の園児や保護者も登降園時に花壇の花を見て会話している姿を見かけた。

#### ・ 苺の苗（花から実になるのを観察）

苺の苗だと知らせなかったが家庭で育てている児がおり、「苺だ。」と言っていたため皆苺になることを期待していた。花が咲くと保育者に教わりながら優しく筆で花をなで受粉を行った。中旬に実がなり花から実になるのを観察した。皆「どうするの？」と食べたそうであったが始めはあえてそのままにした。枯れて茶色くなった苺の実を見せると絶句して驚いていた。普段スーパーで買ったきれいな苺しか見たことがない為貴重な経験となった。「どうしてこうなっちゃったのかな？」と尋ねると「水をあげなかったから。」「わかんない。」「早くとらないからだよ。」と言っていた。

#### ・ 5/12 ひまわり、鳳仙花の種まき

1人ずつ種を渡し花壇に種を植えた。大切に種を持って土に飢えているが種を失くしてしまったり、植えた後土をぐしゃぐしゃにしてしまう児がいた。3歳児クラスで月齢や成長に個人差がある為理解していない児が今後花を育てていきながらどの様に変わっていくかも見ていきたい。

#### ・ 5/19 ひまわりの芽が出た

沢山の芽が出たことを喜び「いっぱい出てきたね。」「もっと大きくなれ〜。」と水やりをし芽をじっと見ている。その後も「葉っぱが4つになったよ。」等日々成長する様子を観察して気が付いたことを保育者に伝えていた。

### 【6月】

ひまわりが日に日に伸びていくのを見て「この位おおきくなった。」「お空まで伸びちゃうんじゃない？」と驚いている。気温も上がり「もっとお水をあげないとね。」と毎日の水やりの量も1人ペットボトル3本分と増えたが意欲的に水やりを行った。

#### ・ 苺の実を食べてみた

実を採取し、目の前で切りわけて皆で食べた。1人ずつ食べた感想を聞いていった。「甘い。」「おいしい。」という児が多かったが「ん〜。」「なんかすっぱい。」と言ったり食べた時に顔をしかめてすっぱそうにする児もいた。何度か実がなったが思っていたより実が育たず日当りのよい場所へ移動した。

・朝顔の種まき

「何色が咲くかな?」「お兄ちゃんが学校で育ててたよ。」と言いながら種を植えて楽しみにしていた。

・紫陽花を飾った(色々な色、種類)押し花にした。

花瓶に生けるとすぐに顔を近づけ香りを嗅いだ。「ピンクがいい。」「水色。」等好きな色の紫陽花を口々に言いながら観察し、梅雨の花に親しんだ。

【7月】

・7/11 朝顔の芽が出たのを見て「芽が出たよ。」「見てみて。」と知らせている。

7/18 つるが伸びていくのを見て「ぐるぐるになってるよ。」と不思議そうに見ている。

つるは伸びるがなかなか花が咲く気配がない。

・7/14 ひまわりが咲いた {小さなひまわり}

子ども達皆が登園するなり「ひまわり咲いたよ。」と興奮気味に教えてくれた。水やりをしながら咲いたひまわりを見て「きれいだね。」「いっぱいさいたね。」と言って笑ったり、言葉を発せずただひたすらじっと花を見つめている姿があった。他のクラスの小さな児、大きな児も皆ひまわりが咲いたと喜んで見ていた。花が咲いたのを登園時見つけたFさんは「ひまわりが咲いた、やったーやったー。」と跳びはねて体全体で喜びを表現した。花が咲くことでこんなにも人が喜び幸せな気持ちになるのだということを実感した日であった

・7/25 大きなひまわりの高さを計測しわかるように部屋の柱に貼りだした。

並んで背比べをしたり、他児の高さと比べ合う姿があった。実際にひまわりの高さを視覚化したことにより高さを実感し、体感としてわかりやすく、自分の大きさと比べる様子が見られた。

【8月】

・ひまわり製作

伸びていくひまわりを見て感じた好きな長さにひまわり製作をした。

好きな長さに茎の長さをのりで繋げていくようにすると、「もっと長くしたい。」と天井につく程長くのりで繋げていた。

8/21 駐車場のスペースを開拓しコスモスを植えた。

・植えた。Kさんは「ママと車乗るときに毎日見るね。」と言っていた。

・8/27 朝顔が咲いた

「紫の朝顔咲いてた。」と T さんが嬉しそうに教えてくれた。戸外に行く際みんな  
で観察し「次はピンク咲いたらいいな。」ともっと花が咲くのを楽しみにしていた。  
思っていたより花が咲かないが、咲くことを願って肥料や水やりを続けた。

・8/29 ひまわりの種採り

長い茎を皆で持ち「うんとこしょ、どっこいしょ。」と掛け声をかけながら力を合  
せひまわりを抜いた。大きなひまわりの花や根っこを見て驚いていた。ひまわりの花  
が種になっている部分を触り「いたい。」「チクチクする。」といていた。部屋で種採  
りを行った。ポロポロと種が採れるのが楽しいのか Y さんは無言でひたすら種を取る  
ことに没頭していた。ひまわりの種は思っていたよりも育たず細くなってしまった。  
採る時期が遅かったか栄養面の問題なのか、、、。また植えたら育ってくれたらとい  
いなと子ども達は期待していた。種を植えたものが育って花を咲かせ、枯れてもまた種  
ができてという花の生命の循環を体感することができたら良いと感じた。

・8/29,9/2、9/17 花の色遊び、鳳仙花、朝顔が沢山咲き始めた

朝顔、鳳仙花。日日草、サルビア、ポラーチュカ、等花壇の花を採取した後すり鉢で  
すりつぶし少量の水を加えた。皆真剣にすりつぶす作業に没頭していた。花の色その  
ままに色鮮やかに出るものもあれば、日日草、ポラーチュカは色が無く透明であった  
ことに不思議そうにしていた。実験的に子ども達の前で「今から魔法をかけるね。」  
と色水に重曹を加えたところ、色が一瞬で変化し「わー、色が変わった、」「すごーい。」  
と不思議そうにしていた。続いてクエン酸を加えたところブクブクと泡が出てきたこ  
とに驚き「ビールみたい。」と盛り上がった。その後は個々に花の色を混ぜてみて「緑  
になったよ。」「その色どうやって作ったの？」等やり取りしながら30～40分程楽  
しんだ。普段は絵の具での色水遊びしか経験したことがなかったが、花を使って絵の  
具とは異なる様々な色の変化を楽しみながら色遊びを行えた。

【9月】

・9/16 コスモスの観察

数本だが芽が出ていたのを見つけて「もっと大きくなれ。」と言っていた。思ってい  
たよりも芽が出ていない。「ごはんをあげればいいんじゃない？」と Y さん。

・9/26 彼岸花を飾った

鮮やかな赤色に目を奪われ、部屋に飾ると皆、興味関心を示して観察していた。E さん  
は花図鑑を持ち出し載っていた彼岸花のページを開き実物と見比べたり調べたり  
していた。

保育者もお彼岸に飾る花だということを知らせ調べたところ丁度この日までがお彼岸だと知った。日本の季節行事ごとにあつたその時期ならではの花があることを知り、花は季節や行事に欠かせない大切なものだと感じた。

・9/26最後の1本のひまわりの種を採取した。長く伸びた後重みで花の部分が下を向くと「シャワーみたい。」と言いながら毎日見ていた。茎をもって抜いてみると根っこの多さに「もじゃもじゃだー。」と驚いていた。種は前回よりも育ちが良くふくらみがあり、数名の児が黙々と種採りを行った。

### 【10月】

・10/24 鳳仙花を押し花にした。赤系の押し花がなかったので赤や紫の花を沢山並べて押し花にした。いつも活動にすぐに興味を示して集まってくる児がいる（10名程）

10/26 朝顔の種が出来始めたがまだ緑色である

・10/31 ハロウィンイベントでグリーンライブセンターからチューリップの球根を頂いた。球根を見て「玉ねぎ？」と言っていた児が多い中家で経験のあるKさんは「球根だよ。」と教えてくれた。

### 【11月】

・11/4 鳳仙花の押し花を見てみると茶色になっていた。保育者は赤にしたかったので「何でだろう？」と残念がっていたのだが子ども達は「きれい。」と言っていたので大人の価値観で判断してはいけないのだと感じた。

・11/7 勤労感謝の日のプレゼントとして押し花アート製作をした。11/21 プレゼント好きな押し花を並べて貼っていくが、それぞれ花の配置や並べ方にも個性が出ていた。出来上がった作品にほおずりするNさんや、「ピアノの上に飾るの。」というFさん。「いつもお仕事ありがとう。」と喋り嬉しそうに手渡しする姿が微笑ましかった。花は感謝の気持ちを伝えるのにもよいと実感した。

・11/25 ヒヤシンス球根水栽培開始

ピンク・ムラサキ色の2つの球根を見せ、水栽培を始める。

根が出るまで暗くして栽培。

2日後、28日に根が出てくる。室内に置いて栽培始める。芽が出始める。

チューリップの球根植え(1月下旬～)

・あさがおの種採取・ほうせんかの種弾き

室内にあさがお・ほうせんかを持ってきて種取りをする。たくさん取れることを喜ぶ。これをまた蒔いたら来年花が咲くことに驚いていた。

・11/26・12/1 チューリップの球根植え

絵本で、チューリップがなるまでを知る。花壇・プランターにチューリップのお花を1人1個ずつ植えていく。

・ユニファ・シクラメン・ストック・パンジーを花壇に植える

【12月】

・12/8 ホームセンターに花を買いに行く、

散歩をしながら、ホームセンターに行き今咲いている花を見学。

2チームに分かれて、好きなお花を選んで買う。

・ジュリアン・ストック ・キンセンカ(黄色・オレンジ)

クリスマスのお花をアレンジメント。各部屋に飾りクリスマスの雰囲気味わう。

・チューリップの芽が少しづつ伸びてくる

【1月】

・1/20 水栽培のヒヤシンスピンク花が咲き始める。

緑だった芽がピンクの顔を出して、まだかな？まだかな？と期待して待っていた。

「ぴんくちゃんががんばれ！」と応援する姿が見られた。

・1/29 フラワーアレンジメントに使うグループに分かれてお花を買いに行く

2つのグループに分かれて京王ストア・イトーヨーカドーに売っているお花を見て買うお花を選ぶ。冬のお花も沢山あることを知り8束ずつ買い物体験する。

・1/30 水栽培ヒヤシンスの紫花が咲き始める。

「ムラサキちゃんもがんばれ！がんばれ！」と話しかける子ども達。

1/31 お楽しみ会で親子フラワーアレンジメントを行い、テーブルに飾ってパーティー

・前日にお花の用意。ある程度やりやすいように束ねておく。牛乳パックで土台を作り、

オアシスを入れて用意。

好きなお花を選び、(チューリップ・ガーベラ・カーネーション・スイトピー・アリストロメリア・スターチス・バラ、菊ピンポンマム、スプレーマム)、グリーン(椿の葉っぱ・南天の葉・アイビー)

を使って親子でフラワーアレンジメントを楽しんだ。

【2月】

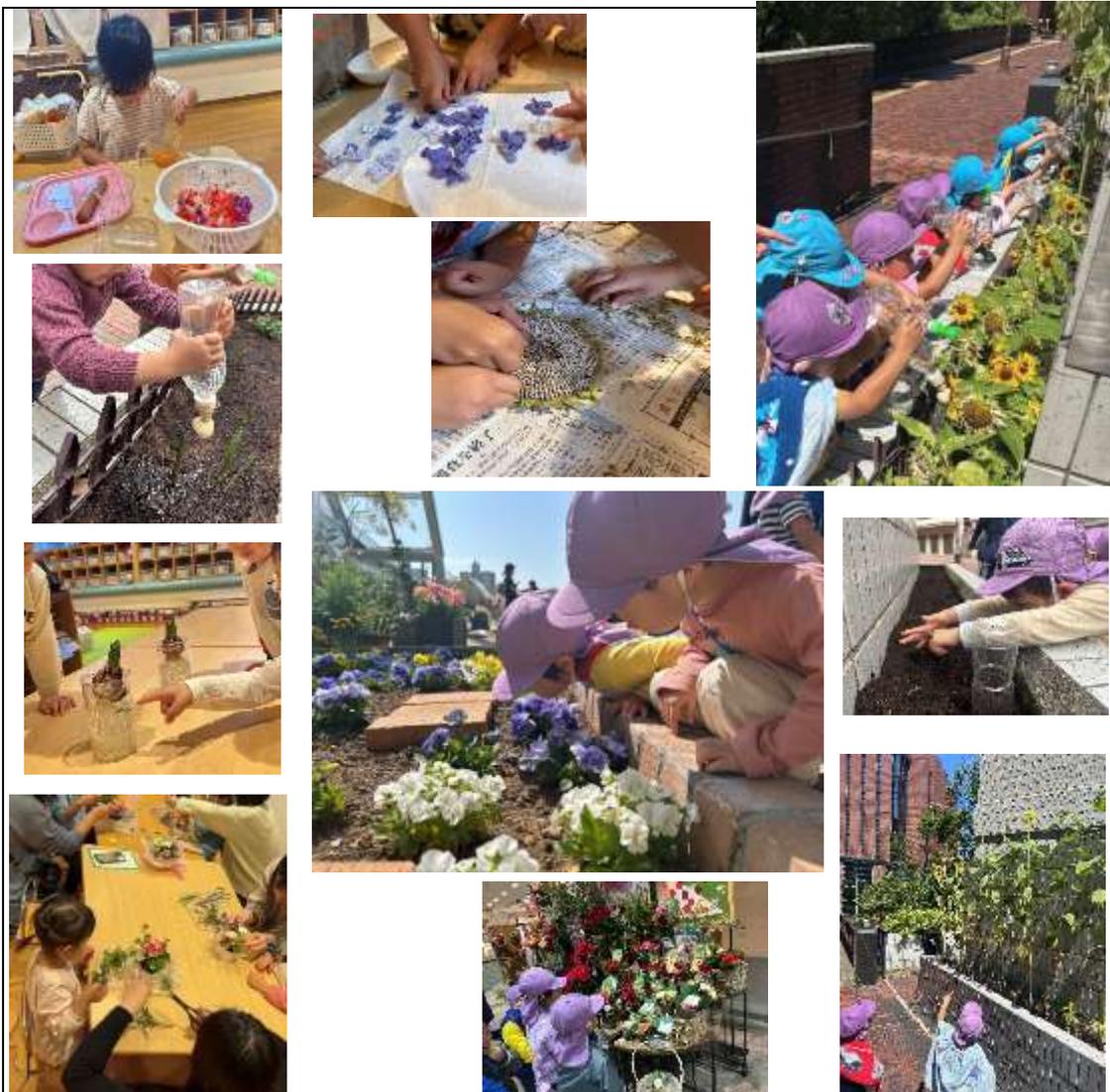
・チューリップの花観察

・花寄せ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・毎日お当番が水やり(ペットボトルのキャップを付けたジョウロ)を夏には朝・夕の2回行った。お花の変化に気づきお水をあげると生長する事を喜んでいた。一番の反応が良かったのは、ひまわりのお花だった。日当たりもいい場所だったので夏の時期、水やりを頑張って行い、ひまわりが伸びる様子を毎日観察することが出来た。

・押し花、ほうせんかやあさがおの色水遊び。すりばちですりつぶし水を入れ花そのものの色が出て楽しむことが出来た。重曹や、クエン酸をいれると水の色が変わる事に保育士も子どもも驚いた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

お散歩中のお花や、グリーンライブセンターの施設で季節のお花を見に行き、その後「保育園にもお花があったらいいのにな」と言う子どもの声があったことで花壇作りから活動を始めた。

季節のお花を花壇に植え、自分たちで毎日水やりをしてお世話することで、次第に花に愛着が湧いた。苗ではなく、種から選んで植えたことによって、芽が出て、花が咲き、枯れて種ができるという過程や生命の力強さを知ることができた。

「どうして芽が出るの？こっちは出ないんだろう」「お花の色は誰が決めたの？」と言う疑問から、花の図鑑をみるなど好奇心も高まっていった。

種をまいても芽が出るとは限らないこと、水を毎日あげても枯れてしまうことなどから、いろんな感情が生まれた。花も生きてる！愛情を持ち、責任を持って育て「花が咲いた」と言う喜びから自己肯定感を高めることができたと思う。

花を育てることは、花の種類・形・色・香りに触れることで五感が刺激され、豊かな感受性が養われ、思いやりの心・コミュニケーション能力が向上し、とてもいい経験ができたテーマだったと思う。今後、花を育てていくときに思い出してさらに優しさを育ててほしい。